

『自然環境学演習Ⅰ・Ⅱ』担当：寺崎 正紀

1. 演習の概要

資源、製品、廃棄物など広い意味での化学物質の政策について、最新動向を「環境リスク論」の視点から学びます。地域において化学物質がもたらす影響を数値（＝リスク）として評価するとともに、法規制や行政対応の必要性、企業行動の在り方を考えます。

2. 演習の進め方

演習Ⅰは、テキストを要約して発表・討論する「輪講」形式で進めます。使用テキストは化学物質やゴミ・廃棄物による環境汚染、ヒトや野生生物への影響、再生可能エネルギーの導入事例と効果検証、環境リスクの見積もり方などを扱った新書を中心に選定しています。

演習Ⅱは、輪講に加えて、特別研究のテーマ決定向けたショートプレゼンを取り組みます。また夏から秋の間に東北地方の河川や海岸などフィールド調査を1回ほど予定しています。

3. 履修条件

特にありませんが、履修を検討している学生は研究室訪問をしてください（これが履修条件となります）。アポイントメントの取り方は右下 QR コードから都合の良い日時をメールにてお知らせください。ゼミ行事（調査や忘年会など）に参加できる学生を歓迎します。特別研究では Excel や R を使った計算や統計処理を行う機会があるので、演習選択の参考としてください。



4. 演習Ⅰ・Ⅱの開講曜時、その他

- ◆ いずれも水曜 14:55～16:35、ゼミの行事や進路情報などは研究室 Web 参照。
- ◆ 問い合せ先：terasaki@iwave-u.ac.jp
- ◆ 特別研究：東北の自然（北上川流域、三陸海岸、積雪など）、雑貨・日用品や食品に関する調査、屋外で目にする事象（プラスチックごみや野焼きなど）を題材に、各自が自由にテーマを設定し、住民や消費者の健康・安全、地域の環境負荷について考察します。
- ◆ 以下は、テーマの抜粋です。

- ① サッカー場で使われる人工芝と水質汚染：東北と首都圏の比較
- ② 三陸沿岸河川に遡上したサケと海のマイクロプラスチック汚染
- ③ 医薬品による北上川の水質汚染
- ④ エッセンシャルオイルによる健康影響について
- ⑤ 輸入コスメに含まれるマイクロプラスチックについて
- ⑥ エナジードリンクに使われる保存料の健康影響について
- ⑦ 環境に配慮した食品容器・包装の評価と今後の可能性について
- ⑧ 水道水に含まれるマイクロプラスチックと健康影響について
- ⑨ 「野焼き」による地域の公害問題について
- ⑩ 新型タバコと改正健康増進法の妥当性について